

<報道関係者向け資料>

思い切ってディナーに誘って、今年こそ脱“クリぼっち”へ！

**20代～30代の男女の過半数は、  
今年もクリスマス前にパートナーなし**  
～若者に景気回復の様子なし!? 予算は昨年並み～  
～彼氏・彼女のいる人たちはクリスマスの準備が早い!!～

## 2014年クリスマスのディナーに対する意識調査レポート

オンラインレストラン予約サイトの運営、ならびにレストラン向け予約管理・顧客管理ソリューションの提供を行っているオープンテーブル株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:武藤友木子、以下オープンテーブル)は、同サービスのターゲット層でもある首都圏在住の20～30代独身男女(有職者)440人に対して、2か月半後に迫ったクリスマスに対する意識調査を実施しました(実施期間:10月10日～10月13日)。その調査結果によると、昨年よりは多少改善されているものの、**今年も現段階では独身男女の過半数がクリスマスと一緒に過ごすパートナーのいない状況が明らかになりました。**

### 【調査の概要】

- ・「**クリスマスと一緒に過ごす相手**」の希望はダントツで「**恋人**」(65.5%)という結果も、調査時点で**パートナーがいない人は過半数以上(57.3%)**。
- ・「**クリスマスの過ごし方**」は、「**外出ディナー**」派と「**家でのおんぼり**」派が互角(各47.3%)。
- ・ディナー予算は昨年とほぼ変わらず、平均で1人あたり10,064円。
- ・クリスマス・ディナーのお店選びで、**一番重要視される情報は「口コミ」(34.8%)**。
- ・パートナーのいる人は、**52.5%が10月中旬の調査段階ですでにレストラン選びをスタート**。

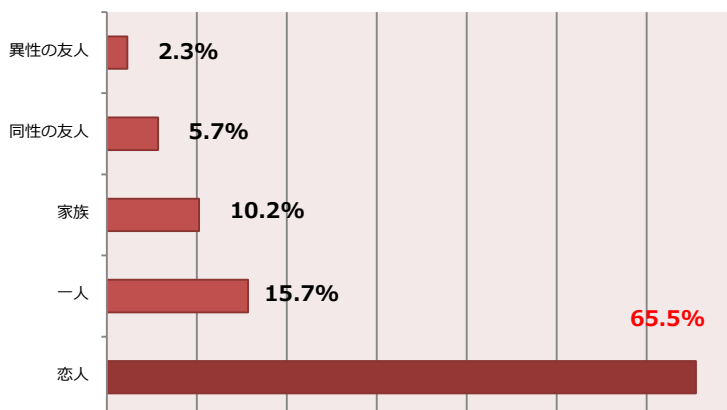
## パートナーなしでも4割強が夢見る やっぱりクリスマスは「恋人と」

クリスマスはやっぱり恋人と共にスイートな時を過ごしたい。その願いには変わりはありません。

今回の調査でも、「**今年のクリスマスは誰と一緒に過ごしたいですか?**」に対しては**65.5%の男女が「恋人」(現時点でいない場合の「希望」も含め)**と回答しています(図1)。

現時点で恋人がいないと回答している人に限定しても、43.6%が「恋人と過ごしたい」と答えており、その希望は誰にとっても夢のシチュエーションであることは間違いありません。

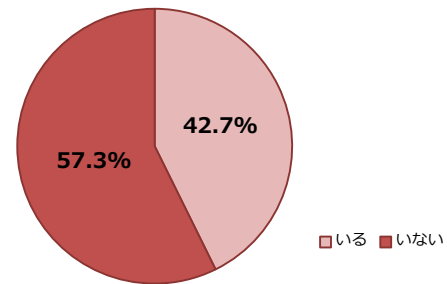
図1 ■ 今年のクリスマスは誰と一緒に過ごしたいですか。



しかし、その夢とは裏腹に、厳しい現実も調査から浮かび上がってきます。「**あなたには現在、付き合っている恋人がいますか？**」と尋ねたところ、**57.3%と過半数の人が「いない」と回答しているのです(図2)。**

ちなみに、昨年の同時期の調査結果では、同じ質問に対して64.5%が「いない」と回答。多少減少傾向にはあるものの、20~30代独身男女にとっては今年も依然としてクリスマスを一人で過ごす“クリぼっち”予備軍が多数見受けられます。

図2 ■ あなたには現在、付き合っている恋人がいますか。



## 好景気は本当？ ディナー予算は去年から変わらず「外食ディナー派」と「お籠もり派」は五分五分

恋人と過ごすクリスマスとなれば、やっぱり外でステキなディナーか、イルミネーションを楽しみながらショッピングか、と思いきや、意外と家でのおんびりしたという「お籠もり派」も多いようです。

「今年のクリスマスはどのように過ごしたいと思いますか？」の問いには、「**レストランなどの外食ディナーを楽しみたい**」という回答と「**自宅でのんびり過ごしたい**」という回答が**47.3%で同率1位**という結果になりました(図3)。なお、この傾向は恋人がいる人に限ってみても変わらず、「自宅でのんびり過ごしたい」派は39.5%で、「外食ディナー」派(57.7%)に次いで第2位と根強い人気を見せています。

その一因と言えそうなのが、20~30代のお財布事情です。

外食ディナーを楽しむ場合の一人あたりの予算の上限を尋ねたところ、**一番多かった回答は「5,001~10,000円」で43.4%**(図4)、金額で平均すると**10,064円**という結果になりました。これは昨年の調査結果と比較しても、ほぼ変化のない数字となっています(昨年度の調査では、「5,000円~10,000円」が38.9%、平均10,783円)。

巷では、アベノミクス効果や景気回復傾向や好感感などが伝えられていますが、**少なくとも、20~30代の独身男女にとっては、年に一度のクリスマス・ディナーといえど、プラスの影響を与えていない**ようです。

図3 ■ 今年のクリスマスはどのように過ごしたいと思いますか。

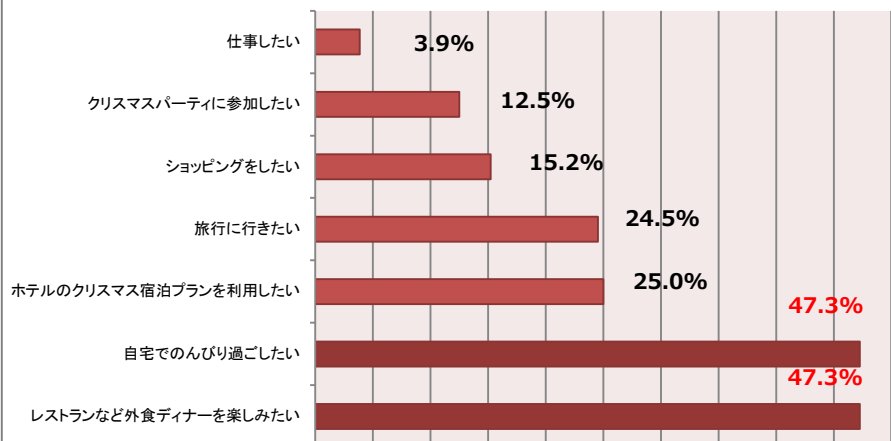
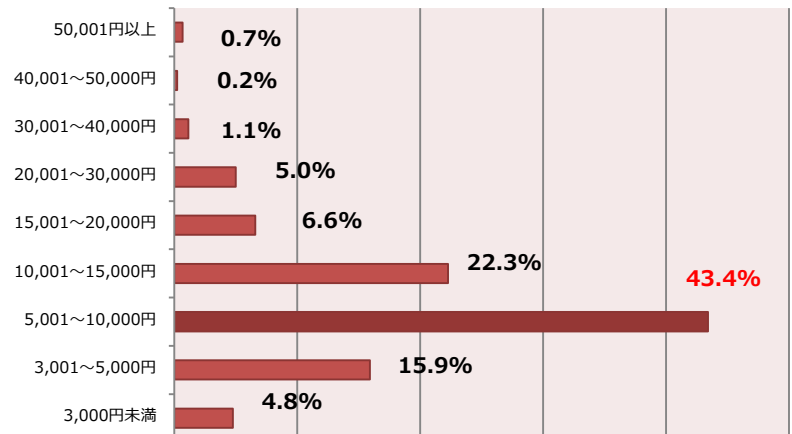


図4 ■ 今年のクリスマスに恋人と外食のディナーを楽しむ場合、ディナーの一人当たりの予算はどれくらいまでが上限だと思いますか。



しかし、男性には強いクリスマス・ディナーへの憧れがある傾向も出てきました。

「外食ディナー派」と「お籠もり派」を性別、年代で比較してみると、「外食ディナー派」のトップは20代女性(50.5%)、そして「お籠もり派」のトップも女性でこちらは30代(56.9%)。年代と共に、両者の数字が入れ替わっていくのが分かります。一方、男性は20代、30代とも「外食ディナー派」がリードしており、「お籠もり派」との差は年代と共に縮まるものの、30代でも依然「外食ディナー」リードは変わりません(図5)。

図5 ■ 「クリスマスの過ごし方」の男女世代別比較

性別	年代	20代		30代
男性	レストランなど外食ディナーを楽しみたい	49.5%	➡	47.7%
	自宅でのんびり過ごしたい	42.3%	➡	45.9%
女性	レストランなど外食ディナーを楽しみたい	50.5%	⬇	41.3%
	自宅でのんびり過ごしたい	44.0%	⬆	56.9%

**女性は年齢と共に「お出かけ」から「お籠もり」へシフトするのに比べて、男性は変わらず「外でクリスマス・ディナー」への思いを強く持ち続けているようです。**

## クリスマスならではの、「ちょっぴり背伸び」よりもいつも通りに「スマホ」「ロコミ」で検索・予約

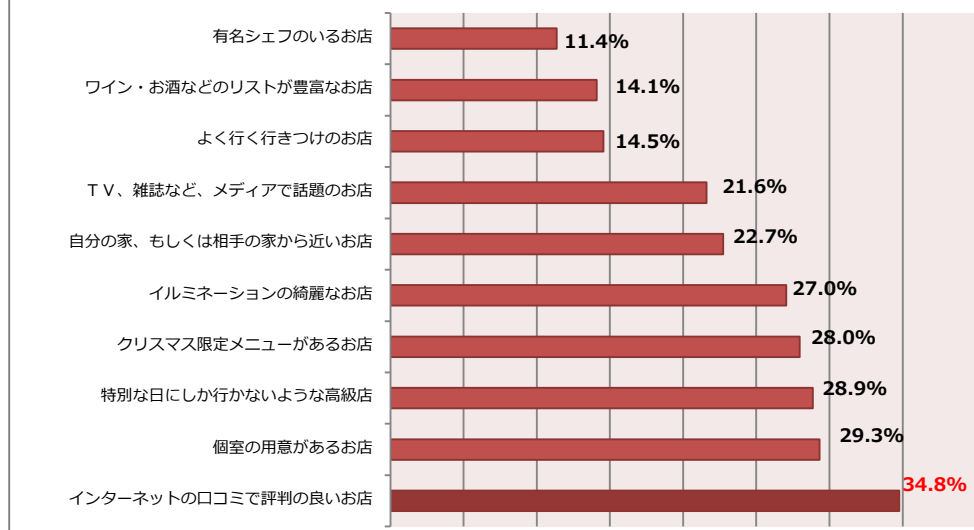
そんな夢のクリスマス・ディナー、お店選びについては日常と変わらない傾向がうかがえます。

「クリスマスに外食ディナーを楽しむ場合、どんなお店を選びたいですか？」に対する回答は、「個室の用意があるお店」、「特別な日にしか行かないような高級店」、「クリスマス限定メニューがあるお店」、「イルミネーションの綺麗なお店」という、特別な夜ならではのチョイスを抑えて、「インターネットのロコミで評判の良いお店」が**34.8%**で**トップ**となりました(図6)。

レストラン情報サイトなどの利用が一般的となった昨今、クリスマスのお店選びもやはり「ロコミ」情報を参考にするという時流を反映する結果となり、このホリデーシーズンもレストラン情報サイトの重要度は増していると考えられます。

さらに、それらの情報チェック、店舗選択、予約を行う端末についての質問では、「スマートフォン」利用者が**89.8%**で「PC」利用者(78.8%)を上回って**トップ**。特に、女性では「スマートフォン」**94.0%**に対し、「PC」は**63.8%**と圧倒的にスマホ利用者が多いという傾向になっています。クリスマスの準備も、「スマホ」、「ロコミ」という今どきの傾向が鮮明に現れる結果となりました。

図6 ■ 今年のクリスマスに外食ディナーを楽しむ場合、どんなお店を選びたいですか。



## クリスマス・ディナー情報戦はすでに始まっている！ 2か月を切った今、残された時間はわずか？！

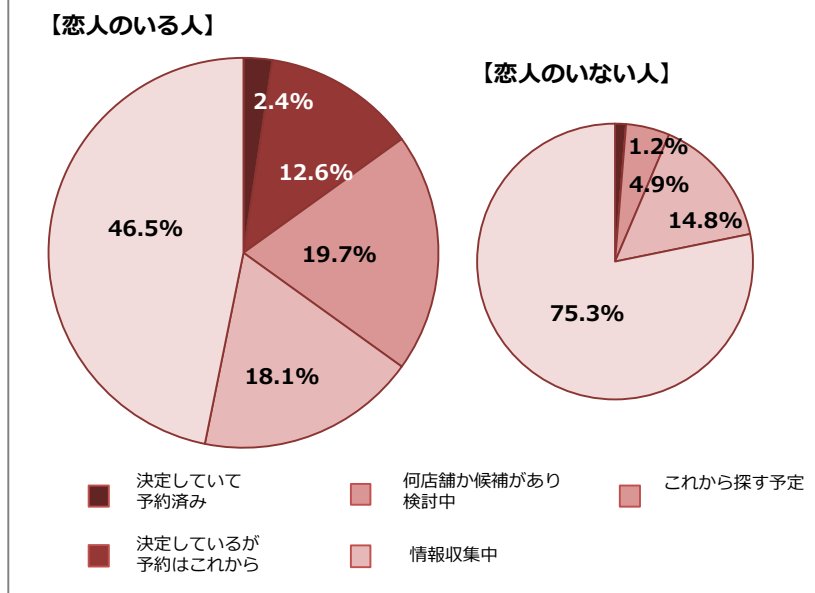
「恋人がいる人」と「いない人」の比較で見ると、今回調査を行った10月中旬の時点で、そのアクションにはすでに大きな開きが生まれていることも分かりました。

「恋人がいる」と答えている人は、「今年のクリスマスの外食ディナーをどこにするか決めていますか？」という問いに対して、「決定していて予約済み」、「決定しているが予約はこれから」、「何店舗か候補があり検討中」、「情報収集中」と、すでになんらかのアクションを起こしている人が半数以上(52.8%)を占める結果が見えてきました(図7)。

これは「恋人がいない」と答えている人(20.9%)をはるかに上回る数字で、「恋人がいる人たち」は2か月以上前から、クリスマス・ディナーについての情報収集を開始していることが分かります。

なお「恋人がいる」と答えている人たちは日頃から、「月一回以上の割合でネット上で飲食店の選択、予約を行っている人」が**63.6%**で、「恋人がいない人」(38.2%)を大きく上回っています。また、利用するレストラン情報・予約サイトの数についても、恋人のいる・いないに限らず、多数派は「5件まで」となっているものの、「恋人がいる人」の場合には「6~15件」利用しているという強者も約5人に1人(22.2%)、これまた「恋人がいない人」の8.6%を大きく上回る数字となりました。

図7 ■ あなたは今年のクリスマスの外食ディナーをどこにするか決めていますか。



もちろん、恋人がいれば、クリスマスに限らず食事に出かける機会も増えるので、常日頃からレストラン情報にもアンテナを張っていて、情報の蓄積が増えるのは当然のことと言えます。ですが、裏を返せば、「恋人のいない人」にとってはその時点ですでに大きなハンディキャップがあるということ。このハンディを挽回するには、相当な準備が必要になってくると想定されます。

## 相手への気持ちも大事だけど... 恋人のいる人は現実的に準備を開始！

また、クリスマスに向けて、「恋人がいる人」はディナーに限らず、着々と現実的な準備を進めている様子も今回の調査からうかがうことができます。

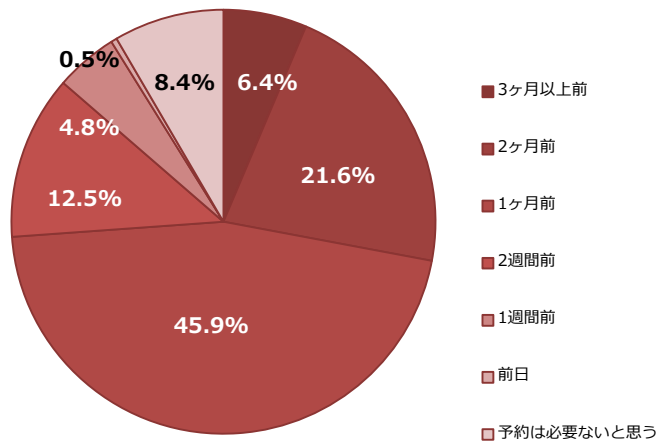
「恋人同士でデートをする場合に異性が気をつけるべき、気をつけて欲しいと思うことは？」という質問に対して、「恋人のいる人」、「いない人」を比較した場合、「恋人がいる人」は「ディナーの予約」、「プレゼントの準備」、「デート全体の演出」といった具体的な準備を期待されている一方、「恋人がいない人」は「自分が楽しむ気持ち」、「相手を楽しませる気持ち」といった精神的な要素の方を重視している傾向が見えてきました。

これも、クリスマスに向けたレストラン予約のアクションで「恋人のいる人」がリードしているのと同様、パートナーがいる人にとってみれば、相手を楽しませるのはもはや当たり前で、必然と具体的な準備を進めていると考えられます。しかし、こうした「恋人のいる人たち」の行動パターンをちょっと学んでみることで、悲願の「クリぼっち脱出」を実現する鍵も見つけられるのではないのでしょうか。

つまり、様々な情報を集め、スマートに演出できるように一つ一つ段階取りをしていく。そして、そのために早い段階からアクションを取る。こうした行動が「自分や相手が楽しむ」、ひいては「ステキなクリスマス」のために必要と考えられます。

「クリスマス・ディナーの予約はいつ頃するべきだと思いますか？」という問いで一番多い回答となった「一ヶ月前」(45.9%) (図8)まで、残すはあと数週間。クリスマスの準備に早すぎることはありません。

図8 ■ クリスマスディナーの予約はいつ頃するべきだと思いますか。



## 「OpenTable」なら、いつでもどこでも瞬時にスマートな「クリスマス・ディナー」の演出が可能

「OpenTable」には、有名グルメガイドブックの星付きレストランから有名シェフの人気店、老舗、行列店まで、東京・大阪・神奈川を中心に、約1,400店の多彩なレストランが加盟しています。もちろん、そのレストランを利用したダイナーの口コミ情報もチェックできますし、エリアを指定して検索を利用すれば、六本木、丸の内、表参道といった具合にクリスマス・イルミネーションを楽しんだ後で利用可能なレストランをピンポイントで探すことができるので、スマートなディナー予約、エスコートが可能です。

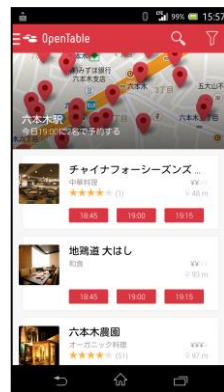
しかも、「OpenTable」であれば、レストランの営業時間を気にせず、1日24時間いつでもどこからでも、スマートフォン、PCからアクセスし、オンライン上で即座に予約できます。アクセスしたタイミングでの実際の空席状況を確認した上で予約できるので、利用直前のタイミングまで予約可能ですし、レストランから予約確認の電話やメールを待つ必要もありません。スマホのGPS機能を活用すれば、今いる場所の近くのレストランの空き情報を調べることも可能です。

また、「OpenTable」では今後、クリスマス・ディナーを楽しむための企画を開催予定です。

**11月10日(月)～11月28日(金)の期間「Dinnerの後も夢心地 Uberのスペシャルプロモーションコードプレゼント！」と題したキャンペーンを開催します。**本キャンペーンでは、期間中キャンペーン参加店舗にOpenTableにて予約を行ったお客様を対象に、「Uber」によるハイヤーサービスで利用できるクーポンコードを差し上げます。

詳細につきましては「OpenTable」のFacebook( <https://www.facebook.com/OpenTable.Japan> )にて紹介しておりますのでぜひご覧ください。

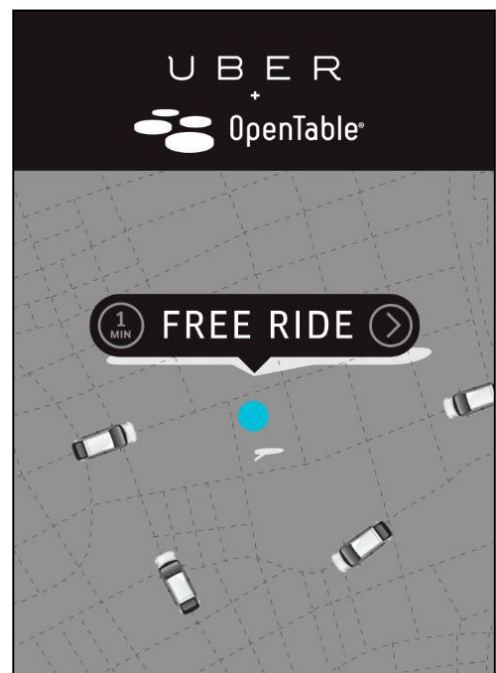
また、今後もFacebookやOpenTableウェブサイト、アプリなどを通じて、様々な情報を発信していく予定です。ぜひ「OpenTable」を活用して、スマートでスイートなクリスマスをお過ごしください。



Androidアプリ



iOSアプリ



## <調査概要>

■調査方法	: インターネット調査
■実査期間	: 2014年10月10日～10月13日
■有効回答数	: 前半=975名 (20代:41.3%、30代:58.7%/男性:50.5%、女性:50.6%) : 後半=440名 (20代:50.0%、30代:49.0%/男性:50.5%、女性:49.5%)
■調査対象条件	: 共通条件=20代～30代、未婚者有職者(パート、アルバイトを除く) 後半=スマートフォン使用者、ネットで飲食店の店舗選択or予約経験有
■調査対象エリア	: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

## OpenTableについて

プライスライングループ(NASDAQ: PCLN)に属するOpenTable (オープンテーブル) は、オンラインレストラン予約における業界をリードする企業です。全世界で32,000店を越える加盟レストランに、月あたり1500万人のお客様がサービスを利用して予約を入れています。

オープンテーブルを使えば、レビューなどを参考にレストランを選んで、空席を検索することができ、簡単に予約できます。予約は、レストランのウェブサイトやモバイル端末用アプリでも行えます。

また、レストランに対しては、オペレーションとサービスレベル向上に役立つ、予約台帳・顧客台帳マネージメントが可能となるホスピタリティソリューションを提供しています。

1998年の設立以来、「OpenTable」は世界中で6億6,500万人を超えるお客様にオンライン予約をご利用いただきました。「OpenTable」は、米国カリフォルニア州サンフランシスコに本社を置き、米国全土をはじめ、カナダ、ドイツ、日本、メキシコ、およびイギリスにおいてサービスを提供しています。オープンテーブル株式会社は、米国 OpenTable, Inc. の日本法人です。

さらに詳しい情報は、<http://www.opentable.jp>をご覧ください。

◎ウェブサイト:	<a href="http://www.opentable.jp">http://www.opentable.jp</a>
◎モバイルサイト:	<a href="http://m.opentable.jp">http://m.opentable.jp</a>
◎iOSアプリダウンロード:	<a href="https://itunes.apple.com/jp/app/opentable-jp/id360284244">https://itunes.apple.com/jp/app/opentable-jp/id360284244</a>
◎Androidアプリダウンロード:	<a href="https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.opentable&amp;hl=ja">https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.opentable&amp;hl=ja</a>

###

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

OpenTable, OpenTable.jp および OpenTable ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における OpenTable, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。

## ■お客様からのお問い合わせ先(誌面への掲載はこちらでお願いいたします)

メールアドレス:	<a href="mailto:jppr@opentable.com">jppr@opentable.com</a>
お問い合わせフォーム:	<a href="http://support.opentable.jp/app/ask">http://support.opentable.jp/app/ask</a>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先(問い合わせ先の誌面への掲載はご遠慮ください。)

オープンテーブルPR事務局(株式会社ゼスト内)

TEL:03-6426-5580 / FAX:03-6426-5581

担当: 石田(070-6984-9768・ishida@zst-b.com)、島田(070-5373-3635・shimada@zst-b.com)、高橋、寺田、石山